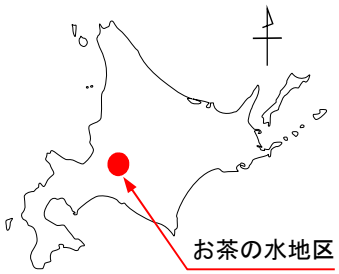
国営施設応急対策事業

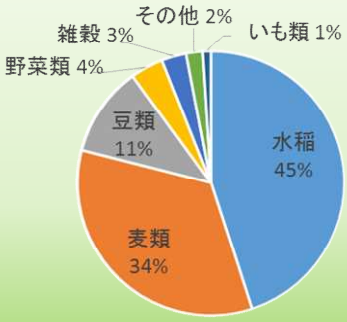
お茶の水地区



～ 安定した排水対策をめざして ～

地域の農業

本地区は、北海道中央西部に位置する岩見沢市及び江別市にまたがる2,854haの農業地帯である。地域の営農は、水稲を中心に小麦、大豆のほか、たまねぎ、にんじん等の野菜類等を導入した経営が行われている。



岩見沢市、江別市の作付面積割合(H27)
資料：2015年農林業センサス

地元JAのブランド米
「情熱米」「巴農場のお米」

「まるいわ」ブランドで、
たまねぎ、かぼちゃ、スイートコーン等を販売

地区の現状と課題

本地区の幹線排水路では、鋼矢護岸が倒壊・傾倒する不測の事態が発生している。さらに排水機場においては機械設備や電気設備の動作不良等の性能低下が生じ、施設の維持管理に多大な費用と労力を要している。

排水路の倒壊事故

排水路の傾倒(倒壊寸前)

機械設備の老朽化
（自家発電設備）

排水機ポンプ軸封部からの漏水
（運転停止の発生）

事 業 目 的

本事業では、施設の機能を保全するための整備を行うことにより、排水機能の維持及び維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資するものである。
また、大規模地震の発生に伴う被害の防止、軽減を図るため、耐震化対策を行う。

事 業 計 画 概 要

受　益　面　積	：	２，８５４ha
関 係 市 町 村	：	岩見沢市、江別市
主　要　工　事	：	排水路　　改修　　２条（L=５．７km）
		排水機場　改修（耐震化対策含む）　１箇所
		ポンプ設備、ゲート設備、電気設備、樋門補修
主　要　作　物	：	水稲、畑作物（小麦、大豆、小豆）、
		野菜類（たまねぎ、にんじん ほか）

施 設 の 整 備

○ 排水路

不測の事態への対策

・ 矢板の倒壊、傾倒及び構造的安定性を有していない区間の更新、補修を行い、排水機能を維持する。

排水路整備イメージ

○ 排水機場

長寿命化対策

・ ポンプ設備の動作不良等の性能低下による排水機能の回復を図る。

整備内容
- ポンプ設備の補修
- ゲート設備の部分更新
- 電気設備の更新、補修
- 樋門の補修

耐震化対策

・ 大規模地震の発生に伴う被害の防止、軽減を図る。

整備内容
- せん断補強工
- 基礎杭補強工

排水機場の近傍に市街地が存在